



# 第187回拡大中央委員会開く 2017年1月28日・新橋交通ビル

国労本部・第187回拡大中央委員会が1月28日に新橋・交通ビルで開催され、当面する闘争方針について議論し決定されました。

委員会では17春闘や組織拡大・地域共闘の闘い・地方ローカル線の取組みなど発言・討論・報告などありました。



NO. 903  
発行  
2017年  
2月10日  
国鉄労働組合  
新潟地方本部  
発行責任者  
齊藤 仁司  
編集責任者  
教 宣 部



# 統一要求一萬五千円

大幅賃上げと  
組織拡大をめざす



佐々木副委員長の開会あいさつでスタートしました。副委員長は「2017年春闘の大幅賃上げと」

春闘の取組みから組織拡大に繋げていく。JR30年・安全キャラバンを展開しJRの現状を訴えていこうとありました。

議長・沢田委員(盛岡)  
副議長・佐藤委員(東京)

議長団の選出ですが、議長に盛岡の沢田委員・副議長に東京の佐藤委員が選出されました。

資格審査では委員30名中30名の出席で委員会が成立したことが宣言されました。

## 福富委員の発言

○じん肺・アスベストが原因で昨年9月退職者が亡くなった。労災申請を行った。新潟地本はアスベストなど具体的な対策はやっていなかった。本部・エリア本部から支援していただき対策委員会を立ち上げた。資料の作成、OBへの調査もスタートした。これからも現職も含めた取り組みを強化していく。

じん肺についての学習会を開催し学習を深め全体で意思統一を図った。車両で使用している(機関車・気動車)「けい砂」は発がん性がある。給砂など取扱はグループ会社が担当している。飛散防止など取り組む。

JR30年の取組み・キャラバン行動を地本では2月25日に宣伝行動を取り組む。ホームドアの整備・ホーム要員の配置踏切事故の発生など。新潟支社管内は踏切遮断棒を冬期間120本撤去している。安全対策について支社へ申し入れた。

17春闘・ストライキ体制の確立を。満額獲得を求めていくため分会全体で意思統一を図る。他労組組合員へも訴え、取り組みをアピールする。その取り組みを組織拡大に結び付けていく。



続いて、坂口委員長のあいさつ・運動方針案の提案があり午前中が終了し12時30分から質疑・討論に移りました。

### 質疑・討論

### 共闘・共同行動を 取り組む

○米子地本(三江線廃止反対)の闘い(2018年3月に廃止が決定された。地本として共闘・共同行動を取り組んできた。存続を求める取組みが地域共闘、自治体へと共同行動が広がっている。

鉄道事業法が改悪されたことにより廃止へ。地域でローカル線を守る闘いを進めていく。

伯備線の触車事故(JR西日本へ安全対策について訴えている。要員不足・技術力の低下・職場環境など問題点が多い。安全対策について更に総点検を強化していく。

17春闘(15000円の賃上げ)について、産業別・個別などの賃金要求の取り組みを。ストライキ

配置についてエリア本部を尊重すること。  
組織のあり方・組織人員は減少している。全国的な組織のあり方(ナショナルセンター)への考え方を議論していかなければならない。

### エリア独自で判断したい

●新幹線地本(17春闘)について、地本では各分会でアンケート調査を実施し要求を集約、三大要求として明確にし取り組んでいる。各職場で点検活動の実施、交渉している。

統一要求で15000円の賃上げだが各会社ごとで状況が違うので要求について各会社、エリア本部ごとで独自で判断したい。

ストライキについて、要求獲得には必要と考えるが会社にダメージをあたえられなければ意味が無い。分会大会での発言からストライキについて議論が出されている。不団結にならないように判断して欲しい。

組織拡大・新採者への訴えや宣伝行動を実施する。学習会も開催する。組織対策費について継続できないか。

### ストライキで闘う

●広島地本「三江線廃止反対」の取り組み・宣伝行動や利用者アンケート調査を実施した。

春闘共闘・キャラバン行動で広島駅前で宣伝、チラシ配布を展開した。1月11日に新山口駅前でも宣伝行動を取り組み、広島集会を開催した。三江線の闘いは継続して取り組みを進めていく。鉄道事業法の改悪で大きく変更された。従来に戻す取り組みを進めていく。赤字ローカル線の運営にも訴えていく。



JR中国バス・福山サービスエリアで乗務員が仮眠、起きられなかった。乗務員は体調不良だった。点呼時は体調不良を訴えなかったことや菓を飲んでいないことは確認されている。労働条件について運輸局交渉を実施する。

17春闘・平和の問題、労働法改悪、国労統一要求など、この時期にストライキで闘う。国労はストライキでは効果が無いと言うが労働力を提供しないこと、それによって他労組との共闘・共同行動を展開することが出来る。



### ストライキ分会で議論意思統一を図った

○千葉地本「キャラバン行動・実行委員会」を発足し地域、利用者の足を守る闘いを市民に訴えた。労働法改悪反対・戦争法など国民的課題についても訴えた。

ダイ改・4箇所で集会を開催。委託化が進み、どう変わってきたのかダイ改時に状況を訴えている。平和の問題・オスプレイの事故が

多発している。木更津駐屯地に決定地元と一緒に県民集会を開催。オスプレイは信頼性が無い。反対していたが自衛隊が派遣された。戦争ができる国づくりに反対していく。

安全問題・ホームから転落した。(蔵駅) 駅員が不足している。駅員の配置を求めていくことが重要だ。ホームは危険だ。安全対策を強化していく。ホームドアは2020年に設置予定。

17春闘・グループ会社へ団交を実施する。JRや関連会社も含めて団交申し入れ、春闘を闘う。ストライキについて分会で議論し意思統一を図った。全国単一組織として闘いを取り組んでいくこと。



### 厳しい交渉でもやり続ける

●四国本部「JR北海道の路線廃止について」公共交通の指名を破棄する方針だ。JR四国も同様に北海道のように破棄の考え方が出されている。見直し・本線の削減・駅の無人化そして廃止バスへ移行。高速道路建設費の1割を鉄道へ回せば維持できる。国の支援が無いと維持できない。



キャラバン行動・問題点について視点が変わってきているがキャラバン行動の実施によって安全に対するの検証を実施し全体の意思統一を図り、取り組みを進めてきた。2月25日に四国集会の開催と宣伝行動を実施する。

17春闘・厳しい交渉でもやり続ける。他労組を巻き込んでいく。ストライキについては慎重に判断を。

### 分割民営化は失敗したと言っている

○北海道本部「JR北海道の現状・新幹線開業して50億円の赤字・全体で400億円の赤字だ。台風など自然災害で40億円・復旧に数十億円がかかる。」



JR北海道では単独で復旧できない。1200キロの半分が上下分離方式へ。JRに移行して30年、旭川地区は半数以上がこれに適応になる。分割民営化は失敗したと言っている。組織拡大・緊急課題だが拡大できていない。組合の不満・不信がある。他労組から集会に参加している。まだ加入になっていないが他労組組合員へも今回も参加させたい。全力で闘いぬく。

### 編集後記

今回は187回拡大中央委員会の特集をしました。質疑・討論は次回にも続きます。執行委員長のあいさつや書記長集約については「国鉄新聞」を参照してください。発言内容も簡略していますのでよろしくお願ひします。



**安全キャラバン行動**

**2月25日(土)**

**新潟駅前**

○2月25日(土)午前・新潟駅前で宣伝行動チラシ配布を取り組みます。

当日は午後から拡大地方委員会が開催されますが、その前段で行います。多くの参加をよろしくお願いいたします。

全国キャラバン行動は国労本部からの指示で各地方でいっせいに取り組まれています。集約集会は3月1日の国労中央行動で行います。

